

狛江市保育計画

(平成 23 年度～平成 26 年度)

平成 22 年 10 月

目次

1	計画策定の趣旨	
(1)	計画策定の背景	1
(2)	計画の期間	1
2	狛江市の保育状況	
(1)	狛江市の保育サービス	2
ア	保育サービスの類型及び内容	
イ	保育サービスの利用状況	
(2)	保育所耐震化計画	4
(3)	就学前児童数の推移	5
(4)	将来人口推計	6
(5)	待機児童の状況	7
(6)	待機児童解消に向けた現状の把握と今後の見込みについて	8
3	待機児童解消策	
(1)	認可保育所の大規模改修	10
(2)	家庭福祉員の増員	10
(3)	認証保育所の改修等による受入増	10
(4)	新設認可保育所の増設	10
(5)	幼稚園の預かり保育の時間延長	11
4	保育事業計画	
(1)	認可保育所の受入人数の拡大	12
(2)	認可外保育施設等の支援	12
(3)	一時保育の充実	12
(4)	延長保育の充実	12
(5)	特定保育の実施	12
(6)	事業所内保育の充実	12
5	保育所に係る経費について	13
6	市立保育園の大規模改修に伴う設備の充実について	15

1 計画策定の趣旨

(1) 計画策定の背景

平成 15 年 7 月に児童福祉法の一部を改正する法律が成立し、4 月 1 日現在における保育所入所の待機児童が 50 人以上いる自治体については、保育の供給体制を確保するための「保育計画」を策定することと義務付けられています。

狛江市においては、平成 19 年 4 月に保育所入所の待機児童が、50 人を超えたことにより、児童福祉法第 56 条の 8 に規定する保育計画策定義務化の対象市（特定市町村）となり、これにより認可保育所の待機児童を解消し、増加する保育需要に対応する計画を平成 20 年度から平成 22 年度の期間で策定をしました。計画に沿って認証保育所の新設等を進めてきましたが、保育需要の増加に追いつかず、待機児童の解消には至っておりません。

前回策定した保育計画の最終年度である平成 22 年 4 月 1 日現在でも 50 人を超えているため、今回新たに保育計画を策定するものです。

(2) 計画の期間

計画の期間は、平成 23 年度から平成 26 年度までとし、「みんなで子育て・こまえプラン（後期）」（狛江市次世代育成支援行動計画）と整合性を図ります。

2 狛江市の保育状況

(1) 狛江市の保育サービス

本市には、認可保育所や認証保育所等の保育施設があり、このほか、家庭福祉員等の保育支援を行う機能も備えています。しかし、就労形態の多様化などにより、保護者が求める保育サービスも多様化しています。

ア 保育サービスの類型及び内容

本市には、多様化する保育ニーズに応えるため、様々な保育サービスの提供を行っています。

①認可保育所

⇒国が定めた設置基準（施設の広さ、保育士等の職員数、給食設備、防災管理、衛生管理等）をクリアして都道府県知事に認可された施設です。本市では9施設あります。

②認証保育所

⇒東京都独自の設置基準を満たしており、都が認証している保育施設です。原則13時間以上の開所、0歳児からの入所が可能です。認可保育所と認可外保育施設を併用する「二重保育」の解消につなげるほか、これまでの認可保育所では応えきれていなかった保育ニーズを、利用者がそれぞれの生活スタイルに合わせて選択できる施設です。本市では5施設あります。

③認可外保育室

⇒認可保育所以外の子どもを預かる施設の総称を認可外保育施設といい、施設の名称は保育所、保育室、託児所、ベビーホテル等さまざまです。開設や運営にあたっては、児童の安全及び適切な保育水準の観点から、「認可外保育施設に対する指導監督要綱」に定める基準を満たす必要があり、契約については施設と保護者の直接契約となります。本市では、認可外保育室2施設、ベビーホテル1施設、事業所内保育施設が2施設あります。

④家庭福祉員

⇒保育士等の資格がある方や専門の研修を受けた方が家庭的な環境で保育をする保育サービスです。平成 20 年の児童福祉法の改正により、保育所における保育を補完するものとして、家庭的保育が児童福祉法に位置づけられました（平成 22 年 4 月施行）。本市では 1 ヶ所あります。

⑤一時保育

⇒保護者の方が、出産や病気等で一時的にお子さんを家庭で見ることができなくなったときに、一時的にお預かりをし、保育を提供するサービスです。本市では認可保育所 2 施設、認証保育所 5 施設、家庭福祉員 1 ヶ所で実施しています。

イ 保育サービスの利用状況

過去 3 年間の利用実績です。認可保育所・認証保育所では利用者数が年々増加しています。

各年 4 月 1 日時点

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
認可保育所入所者数／受入定数	818 人／838 人	832 人／842 人	838 人／844 人
認証保育所入所者数／受入定数	84 人／131 人	108 人／161 人	137 人／158 人
保育室入所者数／受入定数	16 人／22 人	13 人／22 人	12 人／22 人
家庭福祉員利用者数／受入定数	3 人／3 人	2 人／3 人	3 人／3 人
一時保育実施施設数	4 ヶ所	6 ヶ所	8 ヶ所

※狛江市民の入所者数であり、市外からの受入である受託児童は含んでいません。

（２）保育所耐震化計画

公共施設のあり方については、平成 21 年度に「狛江市公共施設再編方針」が策定されました。保育所については、その方針に基づき耐震改修を実施します。実施の際には、仮園舎を建設し順次工事を進めていきます。

工程表（公共施設再編方針より）

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
和泉保育園		耐震診断					耐震改修
藤塚保育園			耐震改修				
駒井保育園	耐震診断			耐震改修			
駄倉保育園	耐震診断				耐震改修		
宮前保育園				複合化の検討			
三島保育園		耐震診断				耐震改修	
新設保育園				建築	開所		

・保育所耐震化に向けての方向性について

～環境に配慮した保育所として～

太陽光発電等の環境配慮型のエネルギーを積極的に活用し、併せて維持管理にかかるコスト削減を達成します。

～災害時の一時的な避難場所等にも活用できる地域の拠点として～

自家発電等も行える災害時の一時的な避難場所として地域の安心安全に対応します。

～利用するすべての人にとって活動しやすい保育所として～

ユニバーサルデザインの検討も含め、誰もが利用しやすい施設づくりを進めます。

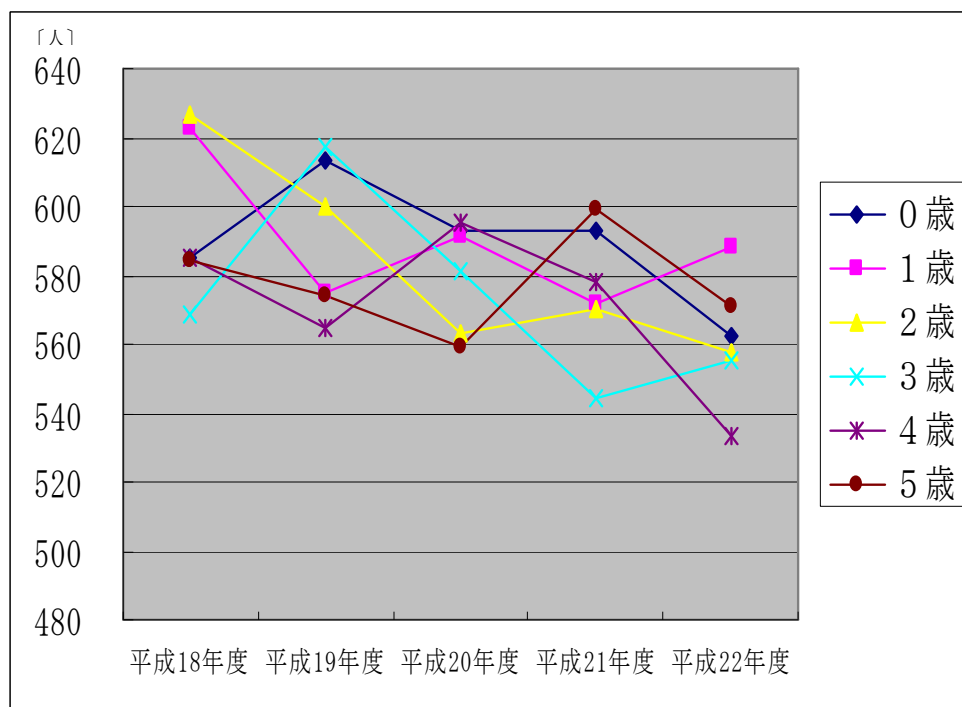
（３）就学前児童数の推移

各年齢とも年によって増減がありますが、全体では減少傾向にあります。

就学前児童数の推移				各年４月１日現在	
年齢	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
0 歳	585 人	613 人	593 人	593 人	562 人
1 歳	623 人	575 人	591 人	572 人	588 人
2 歳	627 人	600 人	563 人	570 人	558 人
3 歳	569 人	617 人	581 人	544 人	555 人
4 歳	585 人	565 人	595 人	578 人	533 人
5 歳	584 人	574 人	559 人	599 人	571 人
計	3,573 人	3,544 人	3,482 人	3,456 人	3,367 人

（住民基本台帳より）

将
口
の
と
に
あ
す
就
児
人
減
て
見



（４）
来
人
推
計
今
後
推
計
し
て、
徐
々
で
は
り
ま
が、
学
前
童
の
数
は
少
し
い
く
込
み

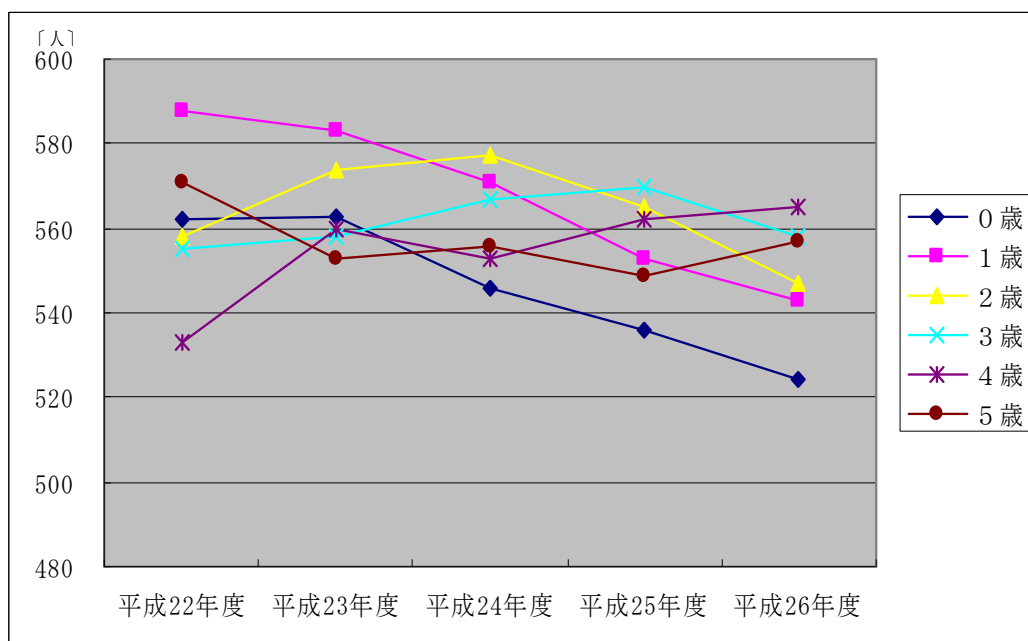
です。

将来の就学前児童の人口推計 各年1月1日現在

年齢	平成22年※	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
0歳	562人	563人	546人	536人	524人
1歳	588人	583人	571人	553人	543人
2歳	558人	574人	577人	565人	547人
3歳	555人	558人	567人	570人	558人
4歳	533人	560人	553人	562人	565人
5歳	571人	553人	556人	549人	557人
計	3,367人	3,391人	3,370人	3,335人	3,294人

(平成21年3月3日第2回総合基本計画審議会資料より)

※平成22年の数値については、4月1日時点の住民基本台帳の数字を記載。



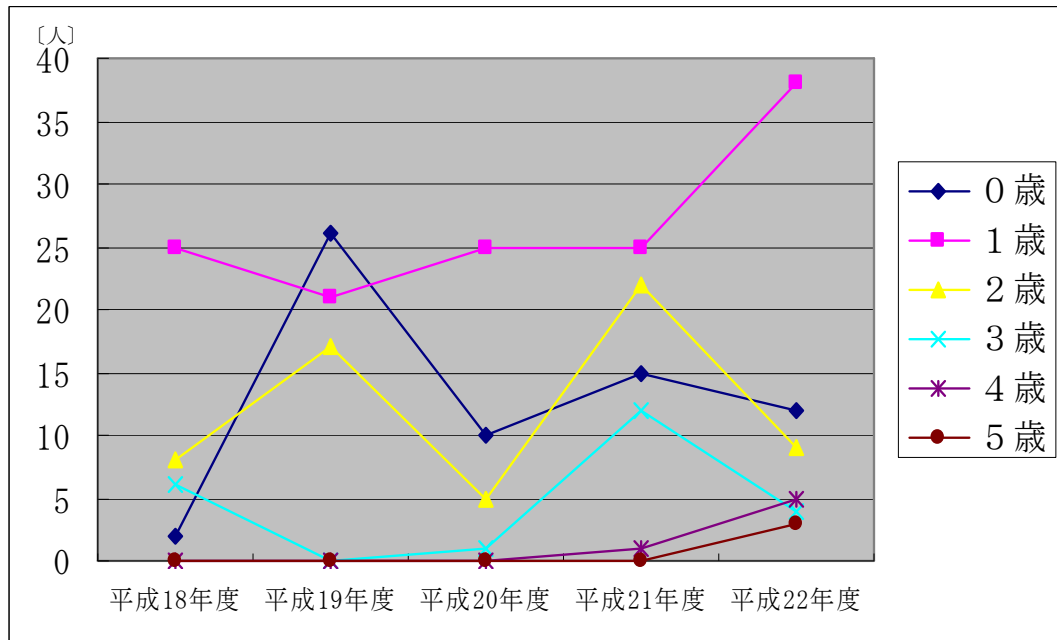
(5) 待機児童の状況

各年度によって、増減がありますが増加傾向にあります。

狛江市の待機児童の状況

各年4月1日時点

年齢	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
0歳	2人	26人	10人	15人	12人
1歳	25人	21人	25人	25人	38人
2歳	8人	17人	5人	22人	9人
3歳	6人	0人	1人	12人	4人
4歳	0人	0人	0人	1人	5人
5歳	0人	0人	0人	0人	3人
計	41人	64人	41人	75人	71人



(6) 待機児童解消に向けた現状の把握と今後の見込みについて

保育計画では、現在の保育状況や需要率等を勘案し、今後の保育ニーズ量を算出します。平成 26 年度までに認可保育所の整備や家庭福祉員の増等を行っていき、平成 26 年度には、すべての待機児童の解消を目指します。

①保育所入所者数や待機児童の人数から就学前児童に占める保育サービス需要の割合を算出します。そこから、対前年度伸び率及び過去 3 年間の平均伸び率を算出します。

各年 4 月 1 日現在

		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
認可保育所入所者数	①	804 人	818 人	832 人	838 人
待機児童	②	64 人	41 人	75 人	71 人
認可外保育施設入所数	③	93 人	103 人	123 人	152 人
内 訳	認証保育所	69 人	84 人	108 人	137 人
	保育室	21 人	16 人	13 人	12 人
	家庭福祉員	3 人	3 人	2 人	3 人
保育需要量	④ (①+②+③)	961 人	962 人	1,030 人	1,061 人
就学前児童数	⑤	3,544 人	3,482 人	3,456 人	3,367 人
保育サービス需要率	⑥ (④／⑤)	27.12%	27.63%	29.80%	31.51%
対前年度伸び率			0.51%	2.17%	1.71%
3 年間の平均伸び率					1.46%

②東京都の保育計画では、平成 29 年度時点での都における潜在的ニーズ量を就学前人口の 44%としています。今回の保育計画での保育ニーズ量の算出については、

本市における過去の実績の伸び率をもとに算出しています。保育サービス需要率は①の対前年度平均伸び率を毎年加えたものとし、就学前児童数に、この保育サービス需要率を乗じて保育ニーズ量を算出し、各保育サービス目標を算出します。

各年4月1日現在

			平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
就学前児童数※1			①	3,367 人	3,391 人	3,370 人	3,335 人	3,294 人
保育サービス需要率			②	31.51%	32.97%	34.43%	35.89%	37.35%
保育ニーズ量			③(①×②)	1,060 人	1,118 人	1,160 人	1,197 人	1,230 人
保育サービス目標	認可保育所定数 (狛江市民受入人数)		④	844 人	844 人	844 人	954 人※3	1,024 人※4
	認可外保育施設定数		⑤	183 人	196 人	236 人	239 人	239 人
	内訳	認証保育所		158 人	168 人※5	198 人※6	198 人	198 人
		保育室		22 人	22 人	22 人	22 人	22 人
		家庭福祉員		3 人	6 人	6 人	9 人	9 人
		幼稚園の預かり保育による受入		0 人	0 人	10 人	10 人	10 人
特定の保育所への入所を希望する等の待機児童数			⑥	24 人	24 人	24 人	24 人	24 人
待機児童数			③－④－⑤＋⑥	71 人※2	102 人	104 人	28 人	0 人 (△9 人)

※1 就学前児童数については、P6の将来人口推計を参照とした数値

※2 平成22年度については、報告として挙げている人数であり、辞退者等様々な理由を考慮しているため、上記の計算式とは一致していません。

※3 新設保育所建築により110人の受入を検討しています。

※4 駄倉保育園改築による受入増10人と新設保育所建築により60人の受入を検討しています。

※5 一の橋こどもの家での改修による受入増10人を予定しています。

※6 新規認証保育所誘致で30人の受入を検討しています。

3 待機児童解消策

現在、待機児童の解消が喫緊の課題であり解消を図っていく上で、認証保育所などでは現状で空きがでていくことから、まずは既存の保育施設の定員を100%活用していくように対応していきます。具体的な策としては、随時公式ホームページで空き情報を掲載し、市民へ周知を図ります。また、今後はメール配信での空き状況のお知らせ等も検討していきます。

既存の保育施設の定員を満たしていく対応を図った上で、下記の方針をたて、待機児童解消を進めていきます。

(1) 認可保育所の大規模改修

「狛江市公共施設再編方針」に基づき、改修又は建て替えを実施していきます。駒井保育園と駄倉保育園は平成21年度に耐震診断を実施しており、駒井保育園は建替を、駄倉保育園については改修を検討しています。土地の有効活用等を考え、受入人数の拡大ができるかについても検討します。

(2) 家庭福祉員の増員

本市では、増員を図るため、市の広報紙や公式ホームページ等で事業受託者の募集を行っています。市の支援や補助内容の充実等についても検討していき、引き続き家庭福祉員の拡充に努めます。

(3) 認証保育所の改修等による受入増

現在、本市には、5ヶ所の認証保育所があります。そのうち、一の橋こどもの家では、平成22年度中に施設改修を行い、受入人数10人増を予定しています。また、新規設置も視野に入れて、その時の状況を勘案し、検討していきます。

(4) 新設認可保育所の増設

平成25年度開所に向けて、平成24年度中に新設認可保育所を1ヶ所検討します。規模は110人程度の予定ですが、それまでの既存施設の定員増等による対応の結果を踏まえて検討していきます。また、航空計器の跡地にも60人程度の規模の認可保育所の建築を検討していきます。

(5) 幼稚園の預かり保育の時間延長

私立の幼稚園では、現在午後5時までの預かり保育を行っていますが、午後7

時まで時間延長についての検討を促し、勤務等の理由で長時間の保育を必要とする方の要望に応えられるように考えています。10 人程度の受入を予定しています。

4 保育事業計画

待機児解消等の諸課題を解決し、提供する保育サービスの充実を目指していきま

す。

事業名	これまでの内容と取り組み	平成22年度 状況	今後の取り組み	平成26年度 目標
(1) 認可保育所の 受入人数の拡大	・私立保育園では継続して定員弾力化の実施 ・公立保育園では修繕等改修を行い、平成20年度から定員の弾力化を実施	・施設数 9 ヶ所 ・受入定数844人	・耐震化計画に基づいて、改修又は建替を実施し、動向をふまえ、受入人数の拡大を検討 ・土地の有効活用等を考え、新設認可保育所建築の検討	・施設数11ヶ所 ・受入定数1,024人
(2) 認可外保育施設 等の支援	・認可保育所を補完するものとして位置づけて支援を実施 ・認証保育所に対しては運営費や開設準備経費の補助を実施 ・保育室に対しては運営費のほか施設充実費や健康管理費等の各補助項目を設けて補助を実施 ・家庭福祉員に運営費の補助を実施 ・保育室及び家庭福祉員を利用している保護者に対しては、入園料補助及び保育料差額補助事業を実施	・施設数及び定員 ＜認証保育所＞ 5 ヶ所 定員数158人 ＜認可外保育室＞ 2 ヶ所 定員数22人 ＜家庭福祉員＞ 1 人 受託定員 3 人	・現状の補助制度の継続実施の検討 ・家庭福祉員事業に対する補助メニュー充実の検討 ・保育料差額補助事業の対象拡大の検討 ・民間事業者の競争を促し、保育の質の向上等の誘導策を検討	・30人規模の新規認証保育所 1 ヶ所誘致 ・家庭福祉員の増員
(3) 一時保育の充実	・家庭における育児疲れの解消、急病や断続的勤務・短時間勤務等、勤務形態の多様化に伴う一時的な保育需要に対応する為、一時保育を実施	・市立 1 ヶ所 ・私立 1 ヶ所 ・家庭福祉員 1 ヶ所 ・認証保育所 5 ヶ所	・利用者等の動向をふまえ、受入年齢の引き下げも含めて検討	・市立 2 ヶ所 ・私立 1 ヶ所 ・家庭福祉員 1 ヶ所 ・認証保育所 6 ヶ所
(4) 延長保育の充実	・市立保育園では、午前7時15分から午後7時15分までの延長保育を実施 ・私立保育園1ヶ所で、延長保育を実施 ・スポット利用で延長保育が利用できる制度を実施	・1時間延長保育 市立 6 ヶ所 私立 1 ヶ所	・保護者の動向を見据えながら、時間や場所等実施の検討	・2時間延長保育 1 ヶ所 ・1時間延長保育 市立 6 ヶ所 私立 1 ヶ所
(5) 特定保育の実施	・保護者の方が就労等の理由で、年末・年始や休日・夜間保育等、保育に欠ける子どもの保育を保育園で行う事業。動向等を踏まえ、実施可能性について検討	・実施施設数 0 ヶ所	・保護者の動向を見据えながら、場所等実施の検討	・新規の特定保育の実施施設の拡大
(6) 事業所内保育の 充実	・事業主が労働者にとって安心して働ける職場を提供し、仕事と子育ての両立を支援するもので、動向等を踏まえ、実施可能性について検討	・実施施設数 2 ヶ所	・事業所内保育を促進するため、狛江市内でも実施する事業者への助成を行う等検討 ・民間事業者を先導することを目的として、狛江市で実施の検討	・新規の事業所内保育施設の拡大

5 保育所に係る経費について

保育所に係る年間運営経費について、平成 21 年度決算数値を参考に算出しまし

た。運営経費については、ランニングコストとなりますので、毎年計上されていく費用となり、増設や改修等で受入人数が増加した場合は係る経費も増加します。

保育所種別	認可保育所 (市立)	認可保育所 (私立)	認証保育所	認可外保育室	家庭福祉員
施設数	6ヶ所	3ヶ所	5ヶ所	2ヶ所	1ヶ所
歳出額（千円）※1	1,106,437	365,478	121,998	20,196	2,517
一人当たりに係る 経費（千円）※2	1,309	1,047	528	592	488

- ※1 平成21年度決算数値。歳出額には委託先保育所運営費等は除く。
 ※2 歳出額から運営費補助金等の歳入額をもとに利用児童数等から独自算出。
 ※3 家庭福祉員については、一人当たりに係る経費を定員3人にて算出。

また、本計画を進めていくうえで、大きくかかる費用については概算で下記のとおりです。金額については、今後進めていく過程で変更になる可能性があります。

・認可保育所大規模改修等

年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
事業 内容	藤塚／改修工事 実施設計委託 和泉・三島／耐 震診断 仮園舎設置基本 計画作成委託・ 設置工事	藤塚／改修・エ コ改修工事 駒井／建替設 計 駄倉／耐震・増 築基本設計	駒井／建替工 事 駄倉／耐震・増 築設計 宮前／和泉児 童館との複合 化のあり方検 討	駄倉／耐震・増 築工事、エコ改 修工事 和泉・三島／耐 震・改修設計 宮前／複合化 建替基本設計	和泉・三島／耐 震・改修工事、 エコ改修工事 宮前／複合化 建替設計
金額 (千円)	162, 639	80, 490	286, 150	212, 040	113, 520

※狛江市実施計画（平成 22 年度～平成 26 年度）より抜粋

・新規認可保育所の増設（平成 25 年度開所 1 園）

実施設計及び設置工事費 350, 568 千円

※狛江市実施計画（平成 22 年度～平成 26 年度）より抜粋

・家庭福祉員増員のための費用

運営費助成のランニングコストに対する補助金その他、家賃補助や施設整備費等の補助メニューを今後検討し、更なる充実を図っていきます。

6 市立保育園の大規模改修に伴う設備の充実について

市立保育園の改修又は建替を実施していく上で、P 4で保育所耐震化に向けての方向性について示していますが、具体的な各種設備については、下記のとおり考えています。

～環境に配慮した保育所として～

太陽光発電等の環境配慮型のエネルギーを積極的に活用し、併せて維持管理にかかるコスト削減を達成します。

- ・ 保育室の床暖房導入
- ・ 統一した空調システムの導入
- ・ 空気清浄機等の導入
- ・ 太陽光発電システム、燃料電池システム等の環境配慮型エネルギー供給システムの積極的導入
- ・ センサー感知タイプの蛇口やジェットタオルの設置
- ・ 太陽光採光システムの設置 など

～災害時の一時的な避難場所等にも活用できる地域の拠点として～

自家発電等も行える災害時の一時的な避難場所として地域の安心安全に対応します。

- ・ 玄関オートロック及びモニター付きインターホンの設置
- ・ 全室インターホンの設置
- ・ 防犯カメラシステムの導入
- ・ 駐車及び駐輪スペースの確保 など

～利用するすべての人にとって活動しやすい保育所として～

ユニバーサルデザインの検討も含め、誰もが利用しやすい施設づくりを進めます。

- ・ 車椅子対応ができる施設デザインの検討
- ・ エレベーターの設置
- ・ 多目的トイレの設置
- ・ アレルギー対応等給食の充実を図るため、業務用機器の統一やスチームコンベクションオーブンの設置等厨房設備の充実 など

一部検討例として挙げましたが、今後は基本設計を行う中で、詳細について検討し、大規模改修を行っていきます。

登録番号（刊行物番号）

H22－22

狛江市保育計画（平成 23 年度～平成 26 年度）

平成 22 年 10 月発行

発 行	狛江市
編 集	狛江市児童青少年部児童青少年課
	狛江市和泉本町一丁目 1 番 5 号
	電話 03（3430）1111

頒布価格	20 円
------	------

印 刷	庁内印刷
-----	------